

松江市公共交通利用促進市民会議

平成22年2月15日設置



概要

松江市は、平成17年3月に旧松江市、旧鹿島町、旧島根町、旧美保関町、旧八束町、旧玉湯町、旧宍道町、旧八雲村の一市六町一村が合併し、新松江市として発足しました。市内バス路線は、乗合バス3社と、4条コミュニティバスが8地域、78条コミュニティバスが4地域で走っていますが、バス利用者の減少が著しく市の財政負担は年々増加しています。また、急速に進んでいる高齢化に伴う移動手段の確保への対策なども課題となっています。本調査では、市民の公共交通に対する認識と今後の対策方針について市民ニーズの把握などを行い、地域の実情に即した公共交通サービスを構築していくための連携方策を検討し、新たな交通体系の確立を目指します。

○地域公共交通の現況

- ・鉄道：JR山陰本線線（駅数5駅）
- ・私鉄：一畑電車（駅数8駅）
- ・4条バス路線：松江市交通局、一畑バス、日ノ丸自動車
- ・コミュニティバス：（運行地域：12地域）

○地域公共交通の課題

- ・バス利用者数の減少及び移動制約者に対する対応
- ・ICカード化導入

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査（検証）
- ・利用者ニーズ把握調査（アンケート調査）
- ・ICカード導入検討
- ・自転車を活用した公共交通の利用促進

○地域公共交通総合連携計画の構想（予定）

- ・バスサポーター制度導入検討
- ・市民への啓発活動年次計画（MM）
- ・ICカード導入検討
- ・郊外型ターミナル整備の検討

